

令和6年度上期 放送番組審議会 議事録

令和6年10月  
株式会社ジェイコム千葉

1. 開催日時 2024年10月9日(水) 10時00分～11時30分
2. 開催場所 オリエンタルホテル東京ベイ 1階ローズ
3. 委員出欠

委員総数6名、全員出席

【出席委員氏名】

生稲芳博	株式会社幕張メッセ	代表取締役専務
川並弘純	学校法人東京聖徳学園	理事長・学園長
鈴木希依子	木更津市国際交流協会	会長
瀬戸熊修	学校法人千葉工業大学	理事長
薬師寺広	ゴルフキャスター	
柳内光子	山一興産株式会社	代表取締役社長

(50音順、敬称略)

【事業者側出席者氏名】

●株式会社ジェイコム千葉

代表取締役社長	千田貞文
常務取締役	吉川行成
常務取締役	渡辺岳
取締役	佐藤忠信
専任部長	橋本祐一

●JCOM株式会社

映像制作第一部リージョナルマネージャー 西井俊介

4. 放送番組審議会・副会長の選出  
事務局より副会長に瀬戸熊委員を推薦し承諾いただいた。
5. 概況説明
  - (1) 株式会社ジェイコム千葉活動概況について
  - (2) 自主制作番組の放送実績について

## 6. 上期の J:COM チャンネルについての審議

J:COM チャンネルの番組制作全般について、また花火大会の取り組みについての意見交換を行った。

【凡例】 ○：委員からの発言、●：事業者からの発言

## J:COMチャンネルへのご意見

○：地域の方たちに焦点があたった番組編成になっていると感じる。  
10月に行われる東葛駅伝に期待をしている。

●：東葛駅伝は、昨年 10 台だったカメラを今年 25 台に増やし、審判車にカメラを置くなどチャレンジの多い取り組みであり力を入れている。

○：花火や町おこしなどさまざまな内容を扱っているが、J:COM チャンネルの一番の特長は何だと考えるのか。

●：番組ごとにコンセプトは違うが、例えばニュースであれば地域の方が主役と考え、視聴者目線での番組作りを特長としている。収益や番組バリューを上げる取り組みは不足している点もあると考えている。

○：番組の中身も重要だが、同時に増収増益のための戦略やストーリーを考えブランド力を高めることや、もっと J:COM を知ってもらう取り組みも必要だと考える。例えば花火大会の演出やスポーツに特化するなど工夫してみてもいい。

○：千葉工業大学スカイツリーキャンパスではスクリーンで花火大会の投影をしており来場者は無料で見ることができ話題になっている。花火の大きな魅力である「音」にも強くこだわっている。

●：最近の花火大会は音楽に合わせたミュージック花火が主流であり、放送でも音にこだわっている。

○：NHK『首都圏ネットワーク』で『こちら J:COM 安心・安全課』を見たが何か連携しているのか？近年、大災害だけでなく気候変動などで河川の氾濫など今までにない災害も起こるようになってきている。それを各地域の知恵と工夫で対策しており、そういった取り組みを生活する人に近い立場で放送している J:COM の役割は重要だと考える。

●：NHK とは災害協定を結んでおり、お互いの映像素材を活用する取り組み

を実施している。『こちら J:COM 安心・安全課』をはじめ J:COM では民放にはない、町単位でのきめ細やかな情報を発信できるようにしている。

○：J:COM は文化を創ろうとしていると感じ、それを我々は応援すべきだと思う。地域密着は難しい問題である。予定されたイベントの紹介は簡単だが、「高齢者問題」などテーマに沿った取材は難しい。J:COM を見れば得をすると感じさせればキー局にも負けないチャンネルになるし、そうした番組作りを期待している。東葛駅伝も楽しみにしている。

●：東葛駅伝は地元企業経営者の方など「走ったことがある」方も多く地域で親しまれている大会である。一過性ではなく、継続して地元に寄り添いながら取り組めたらと思う。

○：街ブラなど、かずさ地域の特徴のある番組が少なくなり寂しい。有事の際の発信も大事だが、「楽しい」「共感できる」といった寄り添いも日々の放送では求められているのではないかと。ニュース番組に遊びが少なくなり、地域でよく知られたキャスターが市民にインタビューするような、地域に溶け込んだ特徴ある番組があると良い。地域のお店に QR コード付きの POP などを置くと良い告知になると思う。

●：POP の件はぜひ検討させていただきたい。

ニュース番組はご指摘の通りイベントがあるところに取材に行くというスタイルになりがちである。地域の特徴や企画テーマを打ち出した番組も考えていきたい。

## 花火大会についての意見

千葉県内 7 大会を生中継し、放送・配信を実施

○：地域の特徴を活かしカメラ配置などの工夫が伝わった。外に出られない子連れや高齢者など近所の方でも需要はあると思うのでぜひ続けてほしい。

○：花火大会の中継をすることで、収益はどうか？

MC なしの演出や空撮など工夫が見られ大賛成であるが、今後 3D や臨場感のある音、ライブビューイングなど次のステップに進むことができればより良いと思う。

●：全体ではまだ収益化は出来ていない。自宅の TV やタブレットのほか現地にてスマホで見るなど視聴方法が多様化しており、生中継・配信のニーズも高まっているため、今後どこにどのように投資していくか経営的にも判断してい

きたい。

○：スポンサー企業名を読み上げる「提供花火」を実施した際に、打ちあがるのを心待ちにしていた思い出がある。TV中継でもそのような取り組みができたら良いのでは。工夫出来るところはたくさんあると思う。

●：提供企業のテロップを入れるなどのアイデアがなかったため、今後収益化のためにもさまざまなアイデアを考えていきたい。

○：花火の迫力ある音が喜ばれると思う。

○：花火のきれいな映像はストレス解消にも有効だと思う。ライブだけでなくいつでも見られるようにしてはどうか。また花火作りに密着したコンテンツも良いと思う。

●：音の工夫については、千葉工大さんの音響工学の研究などとコラボを検討していきたい。映像はアーカイブ配信もしているが、花火作りの密着映像などと合わせてより良いコンテンツにできるよう検討していきたい。

○：これだけの数の花火大会を中継していることをより多くの方に知ってもらう必要があると思う。花火と祭はわくわく感を掻き立てる。毎年同日に開催される大会もあり、現地に行くことが困難でもTV中継で観られると良い。

●：同日開催の花火大会を2元3元中継などの手法で中継するなど、新たな取り組みを検討していきたい。

## 6. 閉会（事業者事務局）

本日頂戴した番組に対する貴重なご意見・ご要望を制作現場に申し送り、今後の番組制作に活かしてまいります。